

東京都市圏における流通チャネルの2時点比較分析に関する研究

東京商船大学 地域計画研究室

1. はじめに

物流は都市を支える重要な機能の一つである。しかし多頻度小口配送や荷捌き・駐停車スペース不足等が一要因となり、大都市圏においての交通渋滞、振動・騒音、大気汚染等の交通問題が深刻化している。

このように都市内物流は大都市圏交通における大きな問題であり、車両積載率向上による効率化の促進や環境負荷の削減を図る事が必要である。

そこで本研究では、東京都市圏における物流の変化をチャネルの観点から分析し、今後、物流問題や都市交通計画を検討する際の基礎的情報を得る事を目的とする。

2. 流通チャネルの定義

流通チャネルとは、「ある物質が生産者から消費者の手に渡るまでの社会的・経済的移転の道筋のこと」である。流通チャネルはいくつもの捉え方が存在する。本研究で使用する流通チャネルは以下のうち、業種間チャネルと施設間チャネルである。

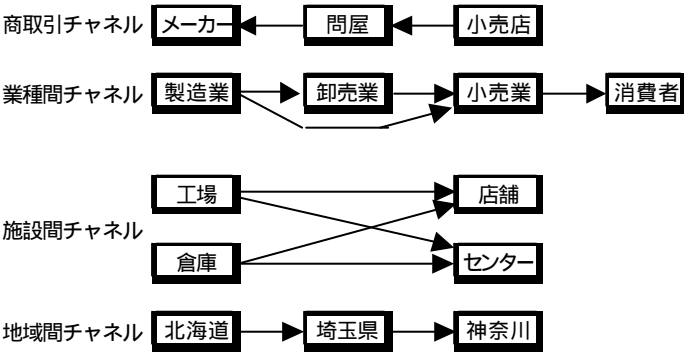


図1：流通チャネルの一例

3. 昨年度の研究成果

3.1 昨年度の研究手順

昭和57年と平成6年に行われた東京都市圏物資流動調査（C1調査）のデータの中で、整合のとれるデータのみを抜き出し、使用した。昭和57年、平成6年の2時点のデータから業種間チャネル分析として、品目ごとに発地・着地の業種でまとめ、業種間チャネルを分類する。同様に、施設間チャネルについても分類し、流通チャネル特性を明確化した。最後に、2時点での分析結果を比較・検討し、2時点の違いによる流通チャネルごとの輸送特性を明らかにし、結論を導き出した。

3.2 昨年度の分析の結果

それぞれの品目において業種間チャネルのうちフレート件数が1番目・2番目に大きいものを抽出しクロスする。

これにより業種間チャネルの特性によるグループ化を行った。同様に、施設間チャネルでは、1番大きいものだけを抽出し、クロスすることにより施設間チャネルの特性によるグループ化を行った。

表1. 業種間特性による分類

	S.57	H.6
製造業型	出版・印刷物	
製造業・卸売業型	穀物 一般機器 電気機器 繊維工業品 精密機器 輸送機器	穀物 一般機器 電気機器 繊維工業品 精密機器 輸送機器 出版・印刷物
卸売業・製造業型	衣類・履物等 輸送機器 精密機器 野菜・果物 食料品 文房具・玩具等 家具・台所用品 その他の農産品 その他の日用品	衣類・履物等 水産品 食料品 畜産品 その他の農産品 野菜・果物 文房具・玩具等 家具・台所用品 その他の日用品

表2. 施設間特性による分類

	S.57	H.6
工場型	出版・印刷物 一般機器 電気機器 輸送機器 精密機器 繊維工業品 その他の農産品	出版・印刷物 一般機器 電気機器 輸送機器 精密機器 繊維工業品 穀物 衣類・履物等
市場型	野菜・果物 水産品	野菜・果物 水産品
倉庫型	食料品 畜産品 文房具・玩具等 家具・台所用品 その他の日用品 衣類・履物等 穀物	食料品 畜産品 文房具・玩具等 家具・台所用品 その他の日用品 その他の農産品

3.3 昨年度の研究の結論

- ・ 東京都市圏内の物流は多頻度小口化してきている。
- ・ 工場型チャネルでは、特に機械工業品類は製造業への依存度が高まっている。
- ・ 倉庫業型チャネルで、特に日用品類は製造業への依存度が高まっている。
- ・ 施設間よりも業種間チャネルにおける依存度が著しい。

4. 今後の予定

- ・ 昭和47年のデータを取り入れ、3時点で比較する。
- ・ 地域間チャネルも合わせた分析をする。
- ・ フレート件数と事業所数・従業者数を比較する事によって、品目ごとの業種の規模を明らかにする。